



独立行政法人国立病院機構
 **松江医療センター**
呼吸器病センター
 〒690-8556
 松江市上乃木5丁目8-31
 TEL (0852)21-6131 FAX (0852)27-1019
 URL <http://www.mmedc.jp/>
 発行責任者
 院長 中島 健二
 編集者
 事務部長 松本 良一



松江水燈路

水燈路(すいとろう)は9月と10月の夜に松江城をライトアップする松江市のイベントです。風情ある松江城を楽しむことができます。

もくじ

新人リフレッシュ研修に行ってきました！ … 2
 教育研修部コラム「You can fly.」 … 3
 Dr.コラム「咳と胃酸逆流」 … 4
 「第150回 肺疾患懇話会 特別講演会」を開催 … 4
 ふれあいまつり開催 … 5～7
 第12回 地域医療連携交流会 … 7
 高校生の1日看護体験を振り返って … 8

中学生地域医療現場体験事業を行って … 8
 サマーコンサートを開催 … 9
 松江を駆ける … 9
 開業医紹介コーナー … 10
 地域医療連携室だより … 11
 国内最大級の病院ネットワーク … 12～13
 外来診療表 … 14

基本理念 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。



新人リフレッシュ研修に行ってきました！



7月3日(火)～4日(水)に、新人リフレッシュ研修を行いました！

入職して約3か月。新たな出会いや経験の中で、嬉しかったり辛かったりと、濃厚な日々を過ごしてきました。

今回の研修を通してこれまでの自己の成長、これからの取り組みについて考え、思いを共有することで新人同士の繋がりを深めることが出来ました。

皆さんに支えていただきながら、頑張っています。今後とも、サポートをよろしくお願いします(^^)／

グループワーク

嬉しかったこと、困ったことを共有し、これからの行動計画を立てました！



交流会

BBQをしながら、先輩の方々から

激励の言葉をいただきました！

新人主体のゲームも大盛り上がり！！



座禅

座禅体験しました！☆（一畑薬師）



***** 研修後アンケートより *****

- ▶ できることやできなかったことなど、同じ悩みを抱えていることが分かり安心した。
- ▶ 自分が悩んだり困っていることなどを話し合っ、共有することがあり相談出来てよかった。
- ▶ 病棟から離れて、自然に会話することができて良かった。
- ▶ これからどのように頑張っていくのか考えるのにちょうどいい時期でした。
- ▶ 新人同士で支え合っ、日々前に進んでいきたいと感じた。
- ▶ とても楽しい時間が過ごせてリフレッシュできました。



明日からの自分へ一言



- ☆ 落ち着いて頑張る！
- ☆ いつも笑顔で頑張っていこう！
- ☆ 頑張る時は頑張って、休む時は休もう！
- ☆ これからも同期で支え合っ頑張らしよう！



これからもよろしくお願いします！！



～教育研修部コラム～

You can fly.

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

講演に呼ばれて福岡行きの機内。ボンヤリと雲や青空を見る。下を覗きこむと海。海の上には点のように見える何か。よく見るとそれは船。少し飛ぶとやまなみが…。あ、ゴルフ場だ。こうして何にも考えないでただボンヤリと。これがいい。普段ドタバタしているせいか飛行機の中から窓の外をボンヤリと眺めていると時が止まったような感覚、心の表面がなだらかになっていくような不思議な感覚になっていきます。好きな時間のひとつです。

出雲一大阪便はジェット機に変わりましたが、出雲ー福岡便はまだプロペラ機。離陸からずっと「ブーン」という音と振動が不快といえば不快。しかし、一生懸命にプロペラ回して飛んでるこの感じ。なんだかちょっとだけ愛おしくさえなります。今ここはうるさいプロペラ機の中、ですが外山滋比古氏のベストセラー「思考の整理学」の出だしは、静かに飛ぶグライダーの話から始まります。

グライダーはご存知のように自力では飛べません。エンジンを搭載した飛行機に引っ張ってもらわないと離陸できません。グライダーと飛行機はそれぞれ教えられる側（学生）と教える側（学校・教科書）のメタファーです。学校では未知のものを教えていきます。教える、教えられる関係性からは、出来上がったとしても優秀な「グライダー人間」がおそらく精一杯でしょう。まれに飛行能力を持つ人も出来上がるようですが、外山氏も記しているように「飛行機」を作り上げるには意図的に教え込んではいけない、という逆説がまたそこにあるのです。

あなたはグライダー？それとも飛行機？

指示待ち、受け身の間はグライダー。

自ら考え、動けるようになって初めて飛行能力を持ちます。とはいえ、誰もが初めはグライダー。飛行機に引っ張ってもらって離陸のスピードを体感し、ついていって飛び方を学ぶ。途中から切り離され、ひとりで飛んで飛行機の疑似体験をします。そして、着陸。

こうして何度も飛んでるうちに、ひとりで飛べるようになる。ただ、そうなるには自ら飛び方を学ぶ必要があります。時には誰かのマネしてひとりで飛んでみたり、うまい飛び方を見たらコッソリ技を盗むこともやってみる、という姿勢も実は大事です。うまく飛べないこともあるでしょう。そんなときはもっかい飛べばいい。飛ぼうとしなければ、やっぱり飛べないのですから。何回でも飛んでみたらいい。

グライダーは遠くへ行けません。

飛行機なら、遠くへ行けます。

プロペラでもいいけど、飛べるのなら、やっぱりジェット機がいい。ジェット機はより速く、より遠くへ飛べる。目的地にも速く着く。高度も高いから眺めもそりゃあ、いい。富士山のとっぺんだって見降ろせる。

エンジンはどこで積むか？

教育研修部でエンジンを積むことができればいいかもしれませんが、我々は「飛び方」を示すことしかできません。エンジンこそ自分で積んでください。我々はその積んだエンジンに燃料を加えたりすることは、できます。どこに飛んだらいいかをアドバイスすることも、できます。

グライダーのまんまでもいいかもしれない。なんとなく飛んでる気分にはなるし。でもそれじゃあちょっとつまらないんじゃない？自分のペースで飛べないもん。

ほら、エンジン積んでプロペラ回して、自分で飛んでみませんか？絶対楽しいってば。慣れたらジェットエンジンにアップグレードしちゃえばチョー気持ちいいハズ。

目の前に飛べるチャンスは転がってる。

行ったことのない、遠くへ。

届きそうになかった、高いところへ。

行ってみませんか？飛行機になって。

エンジンはいつでも搭載可能、ですから。



「咳と胃酸逆流」



呼吸器内科医長
多田 光宏

咳を主訴に当院に来院される患者さんは新患者の約半数を占めていますが、咳は誰にでも経験するありふれた症状にもかかわらず、その診療は非常に難しいと感じています。呼吸器疾患、心疾患、耳鼻科疾患、消化器疾患、神経疾患、心因性、薬剤性など様々な原因があること、画像所見を示さない症例が多いことが診療を困難にしている要因であるように思います。これらの要因から、その診断には問診が極めて重要になるのですが、忙しい外来では患者さんの訴えを十分聴くための時間を割くことが難しい場合もあります。まさに医者泣かせの症状です（涙）。咳喘息、アトピー咳嗽、後鼻漏、感染後咳嗽、逆流性食道炎、副鼻腔気管支症候群など、咳の原因疾患は多岐にわたるのですが、適切な治療を行ったとしても、症状がすっきり改善しない場合があります。この場合、胃酸逆流の合併の可能性があります。逆流性食道炎は咳の原因疾患の一つであるのですが、いかなる原因にしろ、咳が原因で腹圧が上昇し、一時的に胃酸逆流が起こることがあります。このような場合にプロトンポンプ阻害薬など胃酸を抑える薬を併用することで、症状がすっきり改善する場合があります。咳は必ずしも単一の疾患で起こっているとは限らず、広い視野を持って、診療することが重要と考えています。

「第150回肺疾患懇話会 特別講演会」を開催しました！

教育研修副部長 **古門 千代美**

去る7月6日（金）、松江エクセルホテル東急において、「第150回肺疾患懇話会 特別講演会」を開催致しました。

肺疾患懇話会は、2000年8月から開業医の先生方を対象に年間5回開催している勉強会です。年2回は特別ゲストをお迎えし院外で特別講演会を行っていますが、数えること第150回となりました。

今回の「肺疾患懇話会 特別講演会」は、まず一般演題として当院呼吸器内科医長の木村雅広先生より「手荒れと肺炎」と題しご講演いただきました。このテーマに“えっ、どういうこと、関係あるの？”と興味関心を持たれたのは、私だけではなかったようです。

続いて特別講演では、川崎医科大学総合内科学1 准教授の宮下修行先生による「成人肺炎診療ガイドライン2017～改定のポイントは？」と題してご講演いただきました。

ポプラーな肺炎についてのガイドライン改定ポイントをテーマとしたご講演は、興味深く、最新の知見を得ることができました。

当日は西日本に前線が停滞、中国地方は断続的に激しい雨に見舞われた天候でした。講師の先生には倉敷から山陰へおいでいただくため、交通に影響が出るのではとかなり心配しましたが、無事に到着されホッとした次第でした。悪天候にも関わらず、48名（うち当院スタッフ21名）のご参加をいただくことができました。

お忙しい中、ご参加いただいた開業医・勤務医の先生方、またメディカルスタッフの方々、当日ご協力いただいた当院職員の方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後とも、「肺疾患懇話会」をどうぞよろしくお願い致します。



松江医療センターふれあいまつり雨天開催

庶務班長 星原 昌美

ふれあいまつりは挫けない。9月29日（土）雨が降りしきる中「松江医療センターふれあいまつり2018」が開催されました。

その直前の連休明け9月25日、「今年は雨かあ」週間天気予報では29日は雨の予報で当日まで天気予報が変わることはありませんでした。今年は運動会の時期によく雨が降ったと記憶しています。実際この翌週末には台風の影響で各地のイベントが中止となりました。

屋台は屋外とはいえ庇があるので多少の雨は防ぐことができます。しかし、オープニングの「乃木ドリーマーズ」による演奏は体育館でするしかないと判断しました。本番前日までにリーダーの方と体育館で行う場合の打合せをして、体育館で会場設営を行いました。

誰に聞いても「何年前かに一度雨が降った」と記憶にないくらい久しぶりの雨なので心配しました。しかし、そんな心配は演奏が始まった途端吹き飛びました。彼らにとって雨は関係なかったのです。体育館の中を彼らの奏でる音が響き渡り、まるでホールで聞いているような感覚を覚えました。聞いている方々も彼らのあふれんばかりの若さをもらったと思います。

外来管理棟1階では、健康部門の各ブースに小さいお子さんから年配の方まで幅広く多くの来場者が来られました。子供たちが大好きな調剤体験から年配の方が気になる肺活量検査など多くの方が体験できるブースを用



意しました。たくさんの方が来場されてみなさんの健康に関心が高いことを実感しました。みなさん最近、よくテレビで健康に関する情報番組見かけることが多いことと思います。今年もマーブルがテレビ取材に来られました。多くのブースをカメラ撮影してまわっていました。

外来管理棟2階では療育指導室にステージを設営してミニライブやサイエンスショーが行われました。今年松丸くんの作曲者で地元松江市を中心に活動しているシンガーの山根万理奈さんがミニライブで松丸くんの歌などを披露してくれました。そして松丸くんの作詞をした患者さんと対面しました。その様子を山陰中央新報社の記者さんが取材していました。その模様は翌日の新聞に掲載されました。



1	オープニング会場	10:00 - 10:20	10	動物検定	10:00 - 12:00
2	放射線科	10:00 - 14:30	11	医師検定	10:00 - 12:00
3	薬剤師	10:00 - 14:30	12	認定看護師講座	10:00 - 12:00
4	医師課	10:00 - 12:00	13	「パレ」ワークショップ	10:00 - 12:00
5	肺がんCT検査のすすめ	10:00 - 12:00	14	肺がんCT検査のすすめ	10:00 - 12:00
6	お薬をきかそうこ	10:00 - 12:00	15	七五三マメから手づくり健康	10:00 - 12:00
7	心臓検定	10:00 - 12:00	16	もの作り・認定看護師検定	10:00 - 12:00
8	放射線科	10:00 - 12:00	17	医師検定	10:00 - 12:00
9	放射線科	10:00 - 12:00	18	ふれあいステージ	10:30 - 14:30
10	山形県民音楽グループ	10:30 - 14:30	19	山形県民音楽グループ	10:30 - 14:30
11	山形県民音楽グループ	10:30 - 14:30	20	山形県民音楽グループ	10:30 - 14:30
12	山形県民音楽グループ	10:30 - 14:30	21	山形県民音楽グループ	10:30 - 14:30
13	山形県民音楽グループ	10:30 - 14:30	22	山形県民音楽グループ	10:30 - 14:30

23	呼吸器外科講座	11:00 - 12:00
24	中会議室	10:00 - 14:00

松江医療センターへようこそ！
ふれあいまつり
平成30年9月29日(土) 10:00~14:30



作品展示コーナーではたくさんの患者さんに出展していただきました。また、今年の療育体験である七宝焼、アイロンビーズ、ミニ四駆レースにもたくさんの方が集まりました。

外来管理棟3階では市民公開講座が行われました。市民の皆様に肺がんなど呼吸器疾患に対する知識を深めていただくために毎年ふれあいまつりに合わせて開催されます。今年のテーマは「肺がんの診断と外科的治療」で、門脇教育研修部長による「肺がんを診断するということ」と荒木診療部長による「肺がんの外科的治療」の講義が行われました。ここでもみなさんの健康に関する関心が高く、耳を傾けて熱心に聞いておられました。





屋外では屋台やヨーヨーつり、スーパーボールすくいなどの模擬店が出店していました。

雨にもかかわらずどの屋台も大盛況で食券のほとんどが売り切れました。

末筆ですが、まつりの準備から当日の運営まで、多くの患者さんやボランティアの方々に協力していただきました。心よりお礼を申し上げます。



第12回 松江医療センター地域医療連携交流会を開催しました

地域医療連携係長 戸野 佳子

10月18日、松江エクセルホテル東急で日ごろお世話になっている地域の開業医の先生方、近隣の病院の先生方にご参集いただき、地域医療連携交流会を開催しました。

肺疾患懇話会は荒木診療部長による『医療連携を重視した当院の呼吸器外科診療』の講演を行いました。地域の先生方からは『最新の治療について説明があり勉強になった、動画で分かりやすかった、外科手術の現状が把握できた』等のご意見をいただきました。

続いての懇親会では中島健二院長の開会の挨拶に続き、島根県医師会会長 森本紀彦先生、松江市医師会副会長 松嶋永治先生からお言葉を頂戴しました。また、堀内科胃腸科医院 堀浩太郎先生、たまゆ内科クリニック 越野健司先生から、当院とのかかわりなどのお話をいただきました。地域での当院の役割を再認識するとともに、今後さらなる信頼を得られるよう努力していく必要性を感じました。

各テーブルでは、『日頃お世話になっている先生と顔を合わせて話ができ、いろいろな科の先生と話ができた、今後も安心して紹介できる』と、顔を見ながらの交流は連携を深めるために重要で、信頼し合える連携に繋がっていくと感ずることができました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



平成30年度「高校生の1日看護体験」を振り返って

広報委員 4階西病棟 看護師 濱田 美菜



8月の中旬に当院にて高校生の1日看護体験が行われました。9名の高校生が、白衣に身をまとい現場の看護師と同様の格好で参加しました。各高校から参加者が集い、始めは緊張した面持ちもありつつ真剣にオリエンテーションを聞いていました。

病院の説明や新人看護師の体験談を聞いてもらった後に、各病棟に数名ずつ別れて行動しました。担当看護師と一緒に患者さんとコミュニケーションをとったり、ケアをしたり、車椅子移乗体験をしたりと多くの体験をしてもらいました。私は2名の学生さんと一緒に4階西病棟での体験を担当しました。聴診や血圧測定、車椅子移乗体験とストレッチャー移乗体験、シーツ交換を一緒にしました。初めて聴診器を使ってお互いの呼吸音を聞き、拍動が鮮明に聞こえることに驚いている学生さんの姿がとても新鮮でした。始めは緊張していた学生さんも次第に笑顔が出てきて、積極的に疑問に思ったことを質問していました。



高校生の1日看護体験を振り返り、学生さんからは「ドラマで見たことのある医療現場が実際に見ることができた。」や「今までにしたことのない体験ができて良かった」などの感想をきき、少しでも看護職という仕事を知ってもらえたことに嬉しさを感じました。また、忙しい毎日で少しずつ忘れつつあった初心の気持ちを思い出させていただいた貴重な1日となりました。

平成30年度 中学生地域医療現場体験事業を行って

看護部広報委員 1階病棟 兼折 孝行



8月8日松江市内の中学生6名を迎え、中学生地域医療現場体験事業を行いました。

今回の中学生地域医療体験事業には、看護職はじめ医療職全般に興味をもった学生さんや親御さんが医療関係者という学生さんが参加されていました。はじめは表情が硬く、緊張している様子でしたが、時間が経つにつれ表情が和らいでいました。実際に患者さんと話したり、学生さん同士で血圧測定したり、車椅子に乗るといった体験を行いました。学生さんからたくさん質問など、積極的に参加する姿勢が印象的でした。



また、患者さんの気持ちを知るために車椅子体験をしてもらいました。「初めて車椅子に乗せてもらったら低くて怖かった」という感想を述べており、患者さんの気持ちを体験できたのではないかと思います。病棟では実際に看護師の仕事を見学することで、看護師が普段どのような仕事をしているのか知ってもらえる良い機会となったと思います。



参加した学生さんたちが医療職に興味・関心を抱き、将来看護職を目指すきっかけになれば幸いです。

「サマーコンサート」を開催して

看護部広報委員 3階病棟 看護師 筒井 佑香



去る8月21日に「サマーコンサート2018」を開催しました。今年もお忙しい中、ヴィオラ演奏者の沖田孝司さん、妻でピアノ奏者の沖田千春さんにお越しいただき、素敵なヴィオラ&ピアノ演奏を聞かせて頂きました。サマーコンサートには入院中の患者さんや家族が80人近く参加され、生演奏を心から楽しんでおられました。普段笑顔がみられない患者さんに笑顔がみられたり、筋緊張の強い患者さんが穏やかな表情をされているのを見て音楽の力はすごいなと思いました。リクエストした曲も演奏してくださり、好きな曲が聴けて喜んでいる患者さんもおられました。アンコールにも応えていただき、沖田ご夫妻のおかげで参加した方々にとってとても有意義な時間になったと思います。私自身も生演奏に癒されたと同時に患者さんの表情をみてサマーコンサートを開催できてよかったと思いました。



たくさんの方たちのご協力のおかげで無事サマーコンサートを開催することが出来ました。本当にありがとうございました。今後も皆さんが楽しめるようなイベントを企画し、開催していきたいと思います。次回のイベントもたくさん方のご参加をお待ちしています。



松江を駆ける

庶務班長 星原 昌美

見せてもらいました。松江城の水燈路の魅力というものを。

松江市の広報で水燈路をみた時「これは宍道湖に載せない」と思い、次の日、居ても立っても居られず、仕事が終わるや否や愛車（自転車）を駆り松江城に向かいました。

このイベントには幻想的という言葉がよく使われていますが、まさにその通りで「これが、水燈路！」とすっかり魅せられてしまいました。「昔の人はこの風景をバックに能などを楽しんでいたのかしら」と思いを馳せました。みなさんも幻想的な風景を楽しんではいかがでしょうか。ただ、意外と寒いため暖かい服装で来られることをお勧めします。



開業医紹介コーナー

病病・病診連携

No.23

山根医院

この度は当院を紹介する機会を頂き、誠にありがとうございます。日頃は呼吸器科関連の疾患に関して、健診で胸部レントゲン写真で要精査になった方やCOPDや喘息など診断・治療に難渋する方を中心に紹介いたしました際には診断、病態把握、治療に関していつもの確かなアドバイスを頂き感謝しています。

私は鳥取大学第一内科出身で循環器病学を専攻し、鳥大附属病院、松江赤十字病院の循環器科に勤務後、H9年に当院に帰り、以後早いもので今年で開業医生活21年目となります。

当院は明治中期に初代が開院以来、130年近くに渡り地域の皆様に支えていただきながら今日に至っております。

午後は連日、在宅訪問診療のほか特養やグループホーム、小規模多機能施設などの回診をおこなっています、私自身も年齢は重ねていきますがなるべくパワーダウンしないように心がけているところです。

地域の内科医院ですので、お年寄りさんが多いですが、外来ではなるべく気軽に病気の相談ができ、来診しやすい雰囲気の医院を目指して日々スタッフとともに頑張っているところです。

今後とも呼吸器疾患や神経の難病など貴院に紹介しお世話になる機会も多いと思いますが、何卒よろしくお願いたします。

院長 山根 孝文

日本内科学会認定専門医
日本循環器学会認定専門医



当院は、JR木次駅から300mの所に立地。桜名所100選のひとつ木次桜並木はすぐそばです。

内科・循環器内科 医療法人 山根医院		月	火	水	木	金	土
診療時間							
午前 8:30~12:30		○	○	○	○	○	○
午後 4:30~6:30		○	○	△	○	○	△

※午後2:00~4:00は訪問診療(往診)いたします。

休診日 日曜日・祝日

但し、急患の方はこの限りではありません。

TEL 0854-42-1116



施設での訪問診療のひとコマ

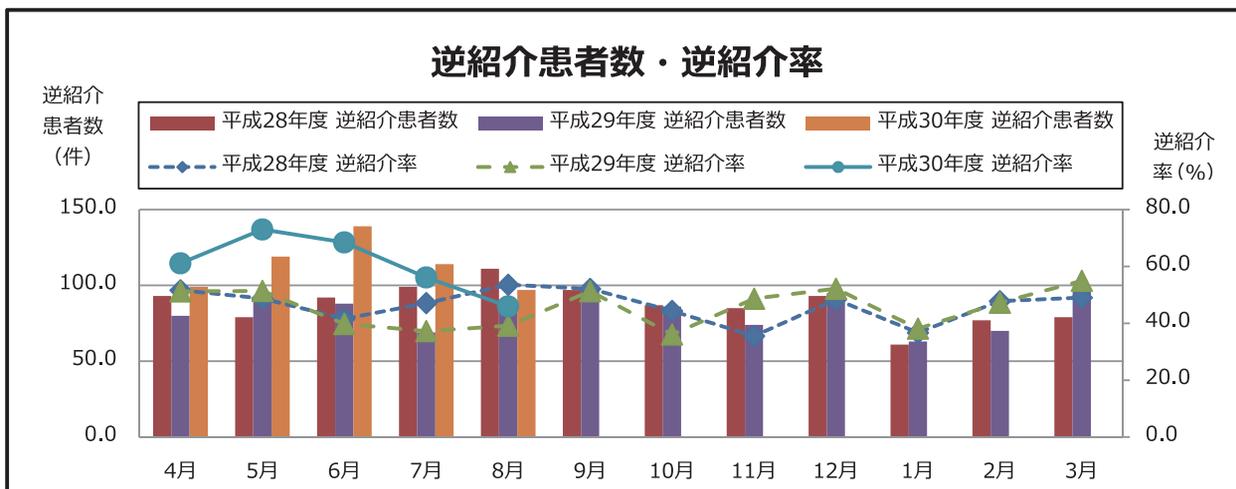
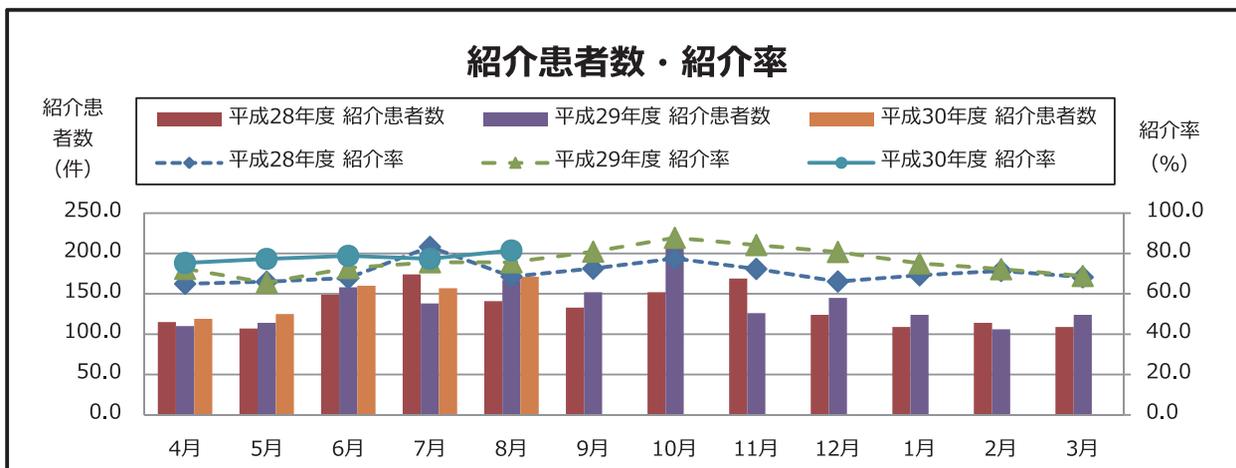


地域医療連携室だより 第32号



2018年10月

1. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移



2. 退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

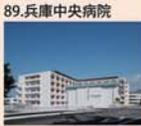
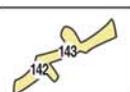
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者 (人)		183	198	213	207	220							
退院先	在宅 (人)	114	133	128	131	122							
	施設 (人)	4	1	6	6	4							
	病院 (人)	7	9	9	10	9							

※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させて頂いた患者さんの割合です。

逆紹介率 = 逆紹介患者数 ÷ 初診患者数 (休日、夜間の救急患者数を除く。)



国内最大級の病

132.熊本再春荘病院 	120.大牟田病院 	103.東広島医療センター 	95.米子医療センター 	88.兵庫あおの病院 	81.東京都病院 	74.敦賀医療センター 	67.東名古屋病院 						
133.大分医療センター 	121.福岡東医療センター 	104.賀茂精神医療センター 	96.松江医療センター 	89.兵庫中央病院 	82.大阪医療センター 	75.あわら病院 	68.東尾張病院 						
134.別府医療センター 	122.佐賀病院 	105.関門医療センター 	97.浜田医療センター 	90.奈良医療センター 	83.近畿中央胸部疾患センター 	76.東近江総合医療センター 	69.豊橋医療センター 						
135.西別府病院 	123.肥前精神医療センター 	106.山口宇部医療センター 	98.岡山医療センター 	91.やまと精神医療センター 	84.刀根山病院 	77.紫香楽病院 	70.三重病院 						
136.宮崎東病院 	124.東佐賀病院 	107.岩国医療センター 	99.南岡山医療センター 	92.南和歌山医療センター 	85.大阪南医療センター 	78.京都医療センター 	71.鈴鹿病院 						
137.都城医療センター 	125.嬉野医療センター 	108.柳井医療センター 	100.呉医療センター 	93.和歌山病院 	86.神戸医療センター 	79.宇多野病院 	72.三重中央医療センター 						
138.宮崎病院 	126.長崎病院 	116.小倉医療センター 	101.福山医療センター 	94.鳥取医療センター 	87.姫路医療センター 	80.舞鶴医療センター 	73.榊原病院 						
139.鹿児島医療センター 	127.長崎医療センター 	117.九州がんセンター 	102.広島西医療センター 					61 	58 	57 	56 		
140.指宿医療センター 	128.長崎川棚医療センター 	118.九州医療センター 											
141.南九州病院 	129.熊本医療センター 	119.福岡病院 											
142.沖縄病院 	130.熊本南病院 												
143.琉球病院 	131.菊池病院 												
													
							113.四国がんセンター 	111.高松医療センター 	109.東徳島医療センター 				
							115.高知病院 	114.愛媛医療センター 	112.四国こどもととなの医療センター 	110.徳島病院 			

院ネットワーク



外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成30年11月11日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科		岩本(初)	多田(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 多田 光宏 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介
		多田	小林	岩本	西川	木村	
循環器内科						生馬	【循環器内科】 生馬 勲
神経内科		中島	古和	深田	足立	交替制	【院長】神経内科 【臨床研究部長】神経内科 【診療部長】神経内科 神経内科・リハビリテーション 神経内科 神経内科
			下山		細田		
呼吸器外科		荒木		目次		荒木	【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 大野 貴志
		大野				大野	
小児科	発達専門外来	久保田(予約)	齋田久保田(予約)	齋田(予約)	久保田齋田(予約)	齋田(予約)	重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
	予防接種		(予約)			久保田	
麻酔科	腰痛外来			西村(予約)			【麻酔科】 西村友紀子
特殊外来	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
	睡眠時無呼吸外来				呼吸器内科担当医(予約)		
特殊外来	息切れ外来		呼吸器内科池田(予約)				【小児科】 齋田 泰子 久保田智香
	喘息アレルギー外来					池田(予約)	
特殊外来	咳嗽外来					池田(予約)	【麻酔科】 西村友紀子
	禁煙外来				毎週木曜日呼吸器内科担当医(予約)		
特殊外来	アスベスト外来		多田(予約)	木村(予約)	門脇(予約)		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30 独立行政法人 松江医療センター 国立病院機構 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661
	神経難病外来		下山		足立		
その他	セカンドオピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	

特殊外来	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,400円
	睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っていきます。
腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。	
セカンドオピニオン外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当いたします。	